

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p><めざす学校像> ○授業を大切にしている学校, ○一人一人の生徒を大切にしている学校, ○保護者・地域から信頼される学校</p> <p><めざす子ども像> ○人権を尊重し, 思いやりと感謝の心を持つ生徒, ○礼儀正しく, 挨拶と美しく整った環境づくりに励む生徒 ○主体的に学習に取り組む, 粘り強く学び続ける生徒, ○自尊感情を持ち, 将来に対して夢や具体的な目標を持つ生徒</p> <p><めざす教員像> ○専門職として研修を深め, 創意工夫をする教師, ○誠意のある言動で, 生徒に親しまれ保護者に信頼される教師, ○高い人権感覚をもち, 健康で心豊かで情熱のある生徒</p>		<p>挨拶・掃除を中心とした基本的な生活習慣の確立</p>	<p>・時間を守ること: 遅刻やチャイム席, その他部活動等において, 余裕をもった行動ができるように指導する。</p> <p>・清掃中は集中して行い, 自ら環境を汚さない行動もとれるよう, 生徒会活動とタイアップして取り組む。</p> <p>・相手を気持ちよくさせる挨拶を教師が率先垂範する。</p>
		<p>自尊感情と確かな学力の向上</p>	<p>・道徳の授業を中心に, 個人個人がよりよい生き方を追究することができるような教材を仕組み, 自分の考えを表現出来る場の設定を行う。</p> <p>・低学力生徒への丁寧な指導と家庭学習の定着化を図るため, 指導法の工夫と点検活動を充実させる。</p>
		<p>不登校生徒の減少</p>	<p>・欠席が連続した場合は, 電話連絡でなく, 家庭訪問を必ず行い, 生徒及び保護者との連携を密にする。</p> <p>・長期欠席の兆候が見られた場合, 緊急会議を持ち, 対策を検討し, 実践していく。また, 不登校生徒に関しては, 原因究明及び教室復帰に向けた支援を積極的に行う。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
<p>挨拶・掃除を中心とした基本的な生活習慣の確立</p>	<p>・学校での挨拶・掃除の徹底を, 全職員で確認し, 生徒会を巻き込んだ日常の活動として結果の“見える化”を行う。</p> <p>・連絡ノートや学校生活アンケートで生徒の家庭における実態を把握することで, 家庭との連携をさらにとる。</p> <p>・年度末までに挨拶アンケートにおいて, 肯定的評価を全体の85%以上にする。</p> <p>・年度末までに清掃アンケートにおいて, 肯定的評価を全体の85%以上にする。</p>	<p>・挨拶・・・以前に比べると, 挨拶をする生徒は次第に増え, 定着しつつある。しかし, 学校外における挨拶の定着はまだ十分とは言えない。</p> <p>・掃除・・・朝練習の前に陸上部や野外活動同好会などの自主的な清掃活動を行っている。全校朝掃除に関しては, 一部の生徒がサボリ気味の様子が伺える。</p> <p>・連絡ノートから家庭での様子を把握しようとしているが, 保護者からの返信を別用紙にした方がよかったと思われる。</p> <p>・挨拶及び清掃アンケートによる生徒の肯定的な回答は83%であった。</p>	
<p>自尊感情と確かな学力の向上</p>	<p>・個に応じた学習指導方の工夫をテーマとし, 生徒の実態を十分に把握し, 教材・教具の開発や指導法の工夫を行う。</p> <p>・生徒間の交流活動場面を多く設定し, 互いの良いところを発見し, 心の成長が見えるように特別活動を仕組んでいく。</p> <p>・1, 2年生は市学習定着度調査で, 3年生は学力診断テストにおいて, 市平均と比較し, 110%となるよう指導する。</p> <p>・1, 2年生において, 第1回Q-Uアンケートの結果から要支援群の生徒を第2回までに10%減少させる。</p>	<p>・実力テストや定期テストより, 生徒の実態を分析し, 個に応じた学習方法の工夫を行うことができた。</p> <p>・生徒会や各学級で生徒の良いところを見つけ, 皆に公表する“ナイスなノート”を実施している。クラスによっては, その効果が現れており, 自尊感情も全国平均以上の値を示した。</p> <p>・学力は本市平均より1年は+24.6, 2年は+6.6, 3年は+14.8ポイント高い値を示した。</p> <p>・Q-Uアンケートの結果から, 6月と11月を比較すると, 1年生の要支援群は+2, 2年生は+-0となった。</p>	
<p>不登校生徒の減少</p>	<p>・家庭や関係機関との連携を密にとりながら, 学年・学校全体で生徒の共通認識をし, 対応策を検討していく。</p> <p>・教師のカウンセリングにおける力量アップと, さらに魅力ある授業づくりや学校行事の検討を行う。</p> <p>・年間30日以上欠席者を, 新たに(昨年度長期欠席者以外に)出さないようにする。</p> <p>・担任及び不登校対応教員の働きかけで, 登校できない生徒をステップルームに登校できるようにする。</p>	<p>・不登校生の予備群に関しては, 家庭や関係機関と連携を密にとることを心がけているが, 予備群に対しては, やや不足していると思われる。</p> <p>・教師のカウンセリングの力量をつけるための手立てがとれていない。研修時間が確保しにくいので, 今後はベテラン教師やリク寮のある教師の事例紹介を行っていきたい。</p> <p>・年間30日以上欠席者数が昨年度より+2となった。しかし, その他欠が-9となり, 学校に起因するトラブルによるものは, やや減少していると考えられる。</p> <p>・SRの活用が増えていることは良いが, 居心地をよくするあまり, 教室へ上がらなくてもよいと感じる生徒が出てきた。</p>	
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>・挨拶は, 校内はもちろん, 地域においても立ち止まり, 視線を合わせての挨拶が広まってきた。運動部から始まった挨拶ではあるが, 他の生徒や小学生まで広がりつつある。今後も継続して取り組んでもらいたい。</p> <p>・清掃活動においては, 行き届いているように見えるが, 学校の自己評価からすると,</p>			